

# 取材レポート

2018年12月発行 学生広報委員

弦楽器製作科ギタークラフトコース1年 藤澤泰介

## ギタークラフトコースの授業

### 製作



本コースでは、2年間で5本の楽器を製作します。各種ギター「ストラトキャスター」「レスポール」「アコースティック」や「ジャズベース」を体系的に製作した上で、「オリジナルギター」を製作します。効果的に効率的に学んでいく段階的カリキュラムになっています。初めは、工具類の使い方や刃物研ぎなどの基礎を学び、きめ細かく担任の先生が指導してくれます。

### 学生インタビュー

Q.製作授業の魅力は何ですか？

A.初めてのギター製作で、木工加工を一からやるので正直大変です。しかし、加工していくにつれてギターの形になっていくところが魅力です。木工加工の経験はないですが、先生が丁寧に指導してくれますので、着実に基礎が身につけてきたと感じています。



### リペア



リペアの授業では、初めにナットやフレットの交換、指板の再塗装（リフィニッシュ）を学びました。ナットやフレットは演奏に大きく影響してくるパーツのため、微かなズレや隙間の細かい確認を繰り返します。塗装では塗料の種類や役割、吹き付けの際に使用するスプレーガンの組み立てや調節、動かし方まで、しっかりと学びます。



### 学生インタビュー

Q.リペア授業の魅力は何ですか？

A.リペアについては学校に入学する前からやっていたことがありましたが、その頃は知らなかった知識を得ることができて満足しています。また、自分のできることが増やせて楽しいです。

# 1年生1作目のギターを紹介 ～ストラトキャスタータイプ

## ★こだわった点を教えてください！

ボディ加工のバックカットやエルポークットのフィット感と塗装をメタリックにした点です。

## ★楽しかった点を教えてください！

初めてのギター製作で、木材がギターの形になっていく過程が楽しく魅力的でした。

## ★難しかった点を教えてください！

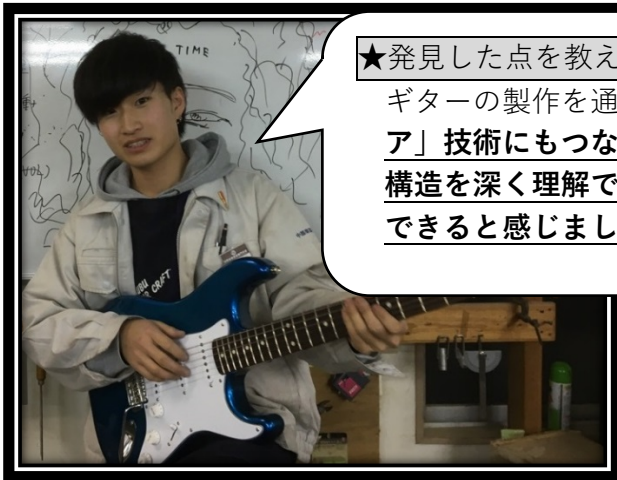
塗装時、細かいゴミが入り込まないように細心の注意をしながら、理想の色に近づける点でした。

## ★学べた点を教えてください！

ギターの製作手順はもちろん、ハンドメイドの難しさを学べ、ギターの構造を深く理解できました。

## ★発見した点を教えてください！

ギターの製作を通して発見できたことは、「リペア」技術にもつながるということです。ギターの構造を深く理解できたことで、よりリペアも理解できると感じました。



## 林先生インタビュー

Q.学生に期待していることはなんですか？

A.授業や学校行事を通して、楽器業界で働くための技術やコミュニケーション能力を身につけてほしいと考えています。

Q.製造業以外にどのような進路がありますか？

A.楽器商社で輸入ギターのクオリティチェックや修理、楽器店での販売や店頭でのリペア業務などもあります。また、女性の卒業生の中には、WEB事業部でインターネット上のカタログ作成や商品特徴をユーザーへ発信したりする仕事に携わっている方もいます。



学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）

**中部楽器技術専門学校**

CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6



0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

URL:www.chubugakki.ac.jp

